

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001 - 243582

(P2001 - 243582A)

(43)公開日 平成13年9月7日(2001.9.7)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコ-ト* (参考)
G 0 8 C 19/00		G 0 8 C 19/00	V 2 F 0 7 3
A 6 1 B 5/00	102	A 6 1 B 5/00	E
G 0 1 K 1/02		G 0 1 K 1/02	R

審査請求 未請求 請求項の数 10 L (全 5 数)

(21)出願番号 特願2000 - 57915(P2000 - 57915)

(22)出願日 平成12年2月29日(2000.2.29)

(71)出願人 000100908

アイホン株式会社

愛知県名古屋市熱田区神野町2丁目18番地

(72)発明者 山口 英紀

名古屋市熱田区神野町2丁目18番地 アイホン株式会社内

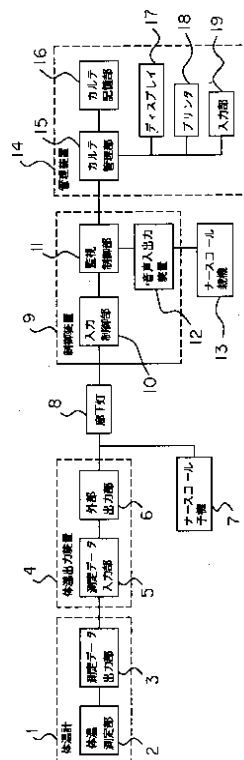
F タ-ム (参考) 2F073 AA19 AB01 BB07 BC01 CC15
CD00 DD02 DE11 FF20 FG02
GG01

(54)【発明の名称】 医療看護管理システム

(57)【要約】

【課題】被看護者が測定後の体温計を体温出力装置に置くことで、そのデータを直接カルテ記憶部に入力できる医療看護管理システムを提供する。

【解決手段】各病室に設置されるナースコール子機およびナースコール親機間の呼出、通話を制御する制御装置と、制御装置に接続され、被看護者の容態、病歴、看護注意事項、食事制限事項等のカルテデータを記憶するカルテ記憶部を有する管理装置とを備えた医療看護管理システムであって、被看護者の体温を測定する体温計の体温測定データを、各病室から廊下灯、制御装置を介して管理装置内のカルテ記憶部へ直接入力し、記憶するための体温出力装置を備えたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】各病室に設置されるナースコール子機（7）およびナースコール親機（13）間の呼出、通話を制御する制御装置（9）と、前記制御装置に接続され、被看護者の容態、病歴、看護注意事項、食事制限事項等のカルテデータを記憶するカルテ記憶部（16）を有する管理装置（14）とを備えた医療看護管理システムであって、被看護者の体温を測定する体温計（1）の体温測定データを、各病室から廊下灯（8）、前記制御装置を介して前記管理装置内の前記カルテ記憶部へ直接入力し、記憶するための体温出力装置（4）を備えたことを特徴とする医療看護管理システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】本発明は医療看護管理システムに係わり、特に体温計で測定された体温を出力装置に接続することで、制御装置を介してカルテ記憶部に直接記憶する医療看護管理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来の医療看護管理システムは図3に示すように、被看護者と看護婦との連絡用に各病室に設置されているナースコール子機20、廊下灯21、ハンディナーズ25やナースコール親機27から入出力される情報を入力制御部23、監視制御部24、音声入出力装置26で制御する制御装置22と、カルテ管理部28、カルテ記憶部29、ディスプレイ31、プリンタ32、入力部33を有し被看護者のカルテデータを管理する管理装置30で構成されている。

【0003】被看護者と看護婦の呼出しや通話は、廊下灯21と制御装置22内の入力制御部23、監視制御部24、音声入出力装置26を介してナースコール子機20とナースコール親機27の間で行われる。

【0004】カルテ管理部29は、各被看護者の様態や病歴、看護注意事項、食事制限等のカルテデータの出入力、編集管理するものであり、カルテデータを格納しておくのがカルテ記憶部30である。ディスプレイ31は入力データ、編集データ、カルテデータ等を表示し、それらを出力するのがプリンタ32、データの入力、編集指示等を行うのが入力部33である。

【0005】被看護者の体温は看護婦が各部屋で測定された体温の情報をハンディナーズ25に入力し、全てのデータを入力した後、ハンディナーズ25からデータを制御装置22に入力し、入力制御部23、監視制御部24を通して、管理装置28のカルテ管理部29に入力され、カルテ記憶部30にデータが記憶される。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のハンディナーズを使用しての被看護者の体温情報管理では、看護婦が全ての部屋を一日に何度もまわるため非

常に手間がかかり、ハンディナーズへのデータの入力ミスや入力忘れの可能性もある。またこのデータを最後にカルテ記憶部に入力する手間もかかる。

【0007】本発明は上述の難点を解消するためになされたもので、被看護者が測定後の体温計を体温出力装置に置くことで、そのデータを直接カルテ記憶部に入力できる医療看護管理システムを提供することを目的とする。

【0008】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するため、本発明は各病室に設置されるナースコール子機およびナースコール親機を制御する制御装置と、被看護者の看護情報を管理する管理装置からなる、看護業務をサポートするための医療看護管理システムであって、体温計の体温測定結果を測定データ出力部を介して体温出力装置に出力し、このデータは制御装置を介して管理装置のカルテ記憶部に直接体温測定結果を入力されるように構成されている。

【0009】このような医療看護管理システムによれば、各病室を一日に何度も訪問する手間がなくなり、ハンディナーズへの入力およびカルテ記憶部への入力の手間を省き、また記録の入力ミスや入力忘れを防ぐことができる。

【0010】

【発明の実施の形態】以下、本発明の好ましい実施の形態例について図面を参照して説明する。

【0011】本発明の医療看護管理システムにおいて図1に示すように、被看護者の体温を測定する体温計1と体温計のデータを出力する体温出力装置4、廊下灯8、ナースコール子機7、ナースコール親機13が制御装置9に接続され、制御装置9と管理装置14が接続される構成である。図1、2に示すように体温計1は被看護者の体温を測定する体温測定部2と測定データを出力する測定データ出力部3とが設けられている。体温出力装置4は測定データ入力部5と外部出力部6とが設けられており、体温計1を体温出力装置4に接続することで体温計1の測定データ出力部3と体温出力装置4の測定データ入力部5が接続される。

【0012】制御装置9は廊下灯8からの情報を制御する入力制御部10、ナースコール親機13との情報を制御する音声入出力装置12がそれぞれ監視制御部11と接続されている。

【0013】管理装置14は、カルテデータを格納しておくカルテ記憶部16と、カルテデータ等を表示するディスプレイ17、カルテデータを出力するプリンタ18、カルテデータの入力、編集指示を行う入力部19とが設けられており、それらは被看護者の様態や病歴、看護注意事項、食事制限等のカルテデータ入出力、編集管理するカルテ管理部14とそれぞれ接続されている。

【0014】このように構成された医療看護管理システ

ムにおいて、以下、その動作について説明する。

【0015】被看護者と看護婦の呼出しや通話は廊下灯 8 と制御装置 9 内の入力制御部 10、監視制御部 11、音声入出力装置 12 を介してナースコール子機 7 とナースコール親機 13 の間で行われる。

【0016】被看護者が定時に行う検温の結果は、被看護者の体温を体温計 1 の体温測定部 2 で測定し、体温計 1 を体温出力装置 4 に接続することで体温計 1 の測定データ出力部 3 と体温出力装置 4 の測定データ入力部 5 が接続され、外部出力部 6 よりデータが出力され、廊下灯 10 8、制御装置 9、管理装置 14 内のカルテ管理部 15 を介してカルテ記憶部 16 に記憶される。記憶されたデータはディスプレイ 17 への表示、プリンタ 18 での出力ができ、また入力部 19 でデータの編集が可能である。

【0017】上述したように、被看護者の検温結果を各病室から自動的に病院のカルテ記録部 16 に入力されることで、一日に 3、4 回行われる検温の結果を、全ての病室を訪問しハンディーナース等に記録する手間が省け、記録の入力ミス、入力忘れを無くすることができる。

【0018】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、各病室に設置されるナースコール子機およびナースコール親機を制御する制御装置と、被看護者の看護情報を管理する*

*管理装置からなる、看護業務をサポートするための医療看護管理システムであって、体温計から体温測定結果を出力する出力装置から、管理装置のカルテ記憶部に直接体温測定結果を入力することで、各病室を一日に何度も訪問する手間がなくなり、ハンディーナースへの入力およびカルテ記録への入力の手間を省き、また記録の入力ミスや入力忘れを防ぐことができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明による医療看護管理システムの一実施例を説明するブロック図。

【図 2】本発明による体温計と体温出力装置の接続図。

【図 3】従来の医療看護管理システムを説明するブロック図。

【符号の説明】

1 … 体温計

4 … 体温出力装置

7 … ナースコール子機

8 … 廊下灯

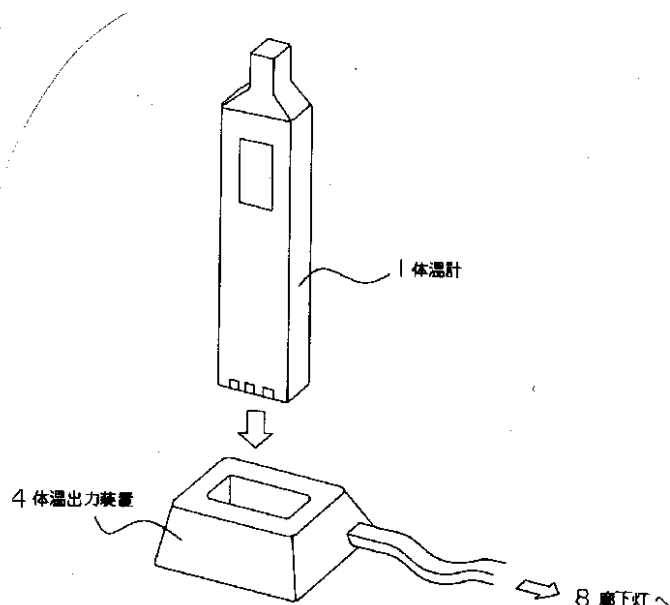
9 … 制御装置

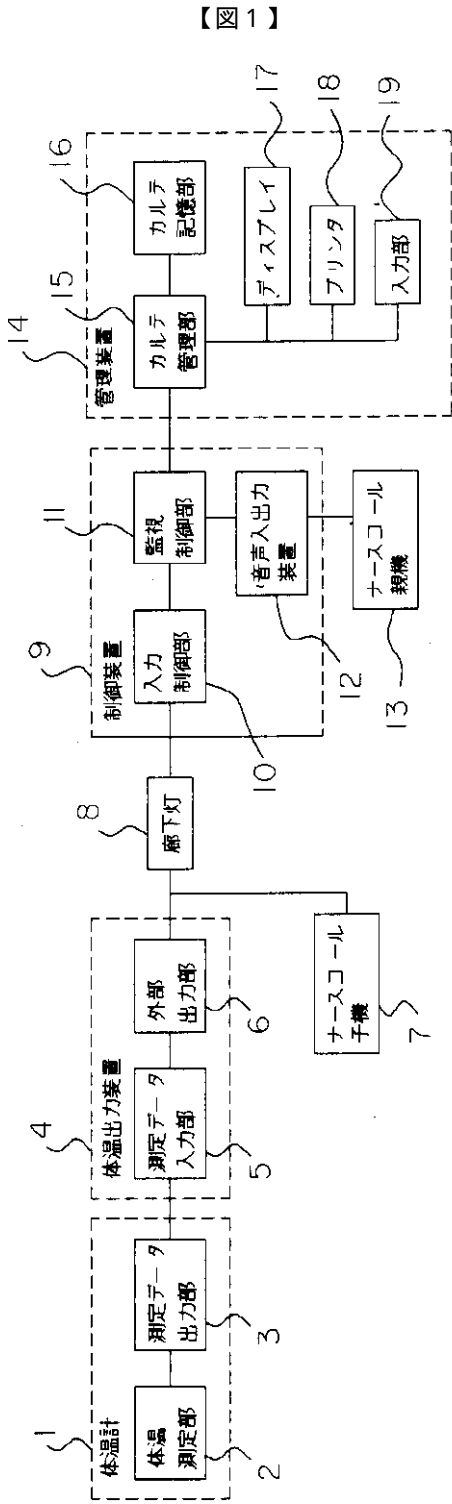
20 13 … ナースコール親機

14 … 管理装置

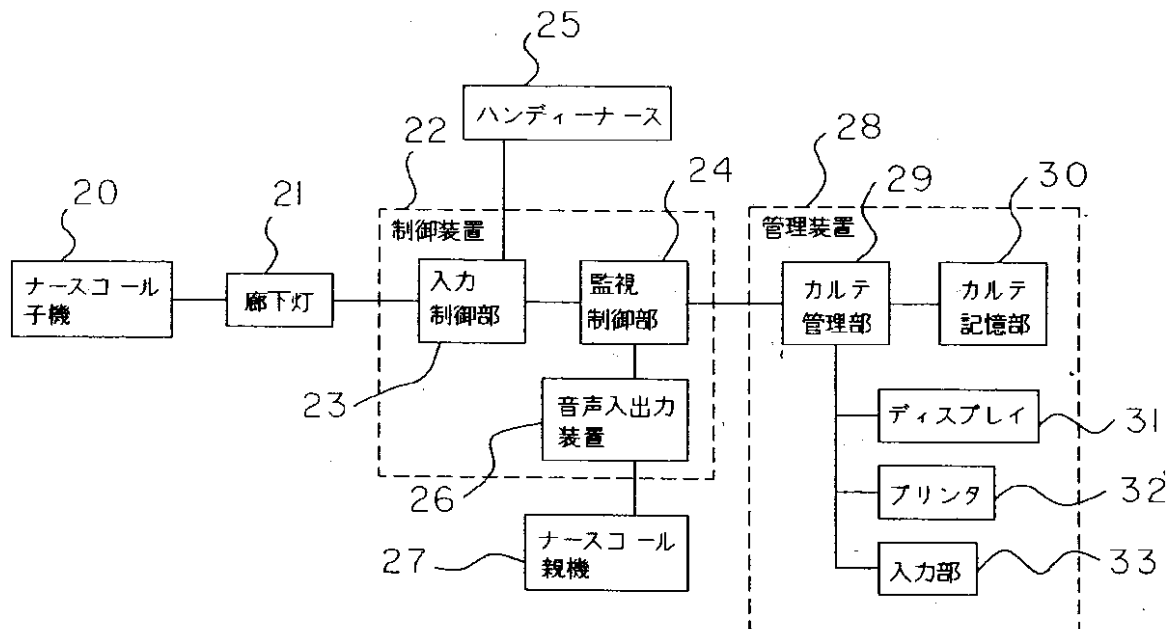
16 … カルテ記憶部

【図 2】





【図3】



专利名称(译)	医疗管理系统		
公开(公告)号	JP2001243582A	公开(公告)日	2001-09-07
申请号	JP2000057915	申请日	2000-02-29
申请(专利权)人(译)	爱峰株式会社		
[标]发明人	山口英紀		
发明人	山口 英紀		
IPC分类号	G01K1/02 A61B5/00 G08C19/00		
FI分类号	G08C19/00.V A61B5/00.102.E G01K1/02.R		
F-TERM分类号	2F073/AA19 2F073/AB01 2F073/BB07 2F073/BC01 2F073/CC15 2F073/CD00 2F073/DD02 2F073/DE11 2F073/FF20 2F073/FG02 2F073/GG01 4C117/XA04 4C117/XB01 4C117/XB05 4C117/XB08 4C117/XC15 4C117/XE23 4C117/XF26 4C117/XG46 4C117/XH03 4C117/XP14 4C117/XQ03		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

要解决的问题：提供一种医疗护理管理系统，该系统能够由受护理医生直接将数据输入到医疗图表存储单元，护理护士将测量后的温度计放入体温输出装置中。 解决方案：一种控制设备，用于控制每个病房中护士呼叫从属单元和护士呼叫主机之间的呼叫和呼叫，控制单元连接到控制单元，以及具有用于存储诸如限制等的医疗记录数据的医疗记录存储部件的管理装置，该医疗护理管理系统包括：用于通过走廊灯从医院房间测量受护理人的体温的温度计的体温测量数据，控制以及体温输出装置，用于经由装置直接输入管理装置中的图表存储单元并存储数据。

